

一般国道21号

さかほぎ 坂祝バイパス

(道路事業)

説明資料

平成27年9月25日

中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

目 次

1. 一般国道21号坂祝 ^{さかほぎ} バイパスの事業概要	
(1) 事業目的	P 1
(2) 計画概要	P 2
2. 評価の視点	
(1) 事業の必要性等に関する視点	P 3
① 交通渋滞の緩和	P 3
② 災害に強い道路機能の確保	P 3
② 地域経済活性化の支援	P 3
④ ストック効果事例	P 4
3. 事業の進捗及び見込みの視点	P 5
4. 県・政令市への意見聴取結果	P 5
5. 対応方針(原案)	P 5

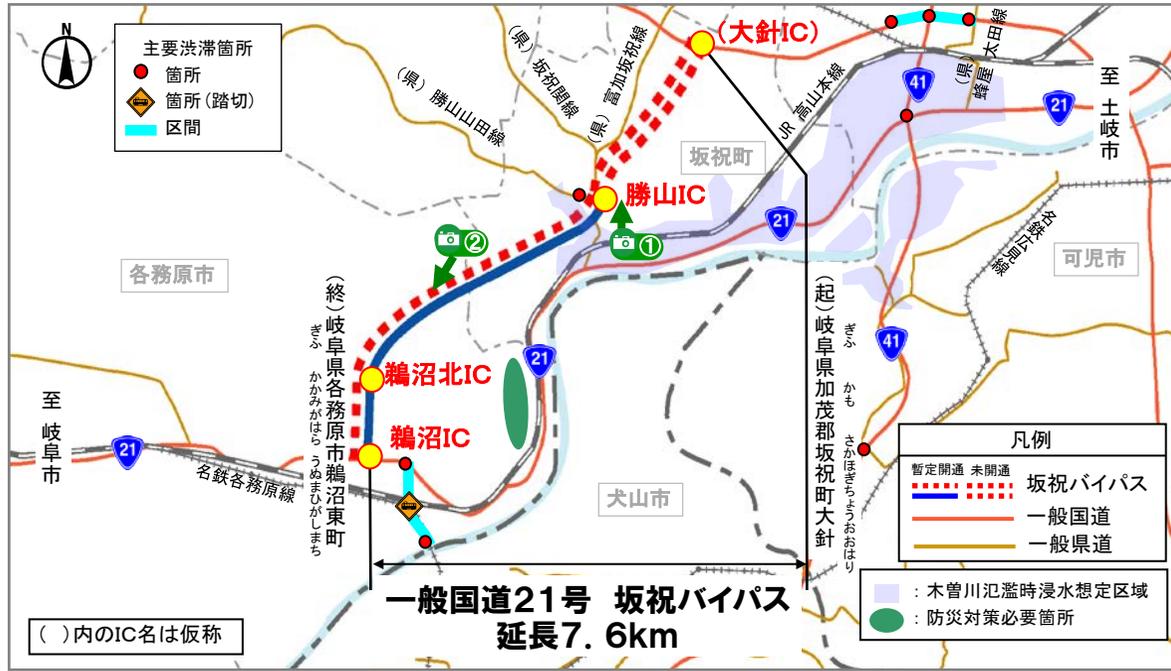
1. 一般国道21号坂祝バイパスの事業概要

(1) 事業目的

本事業の一般国道21号坂祝バイパスは、岐阜県加茂郡坂祝町大針から各務原市鶉沼東町に至る延長7.6kmのバイパスであり、交通渋滞の緩和、災害に強い道路機能の確保を目的に計画された道路です。

並行する国道21号には、主要渋滞箇所(2箇所)や、木曾川浸水想定区域、防災対策必要箇所の存在などの課題があり、本事業は、課題解決のために別線バイパスを整備する事で、交通の円滑化・災害に強い道路機能の確保等の効果を見込んでいます。

坂 祝 バ イ パ ス の 全 体 位 置 図



全体位置図



(H26. 12. 3)

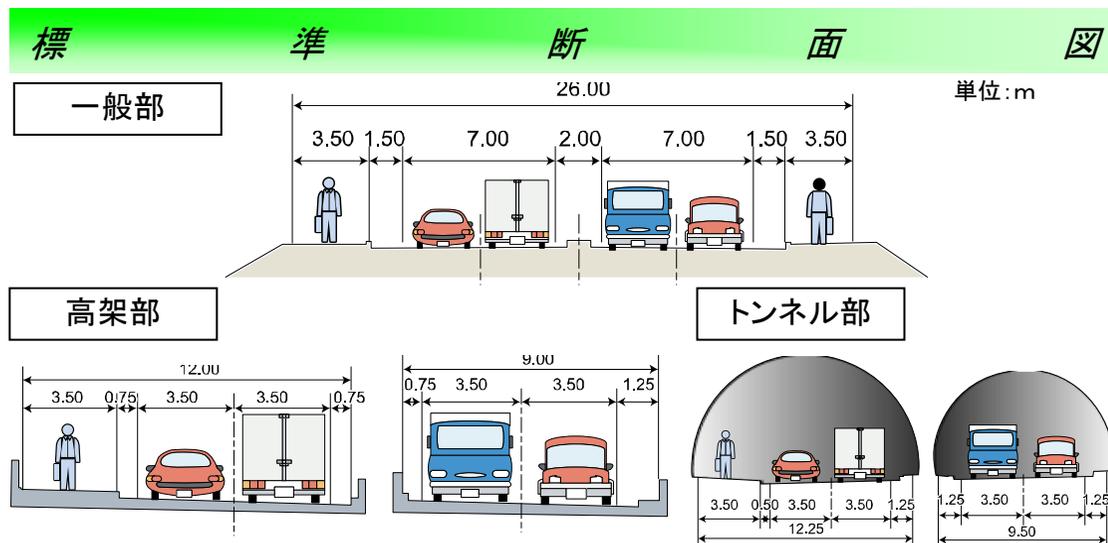
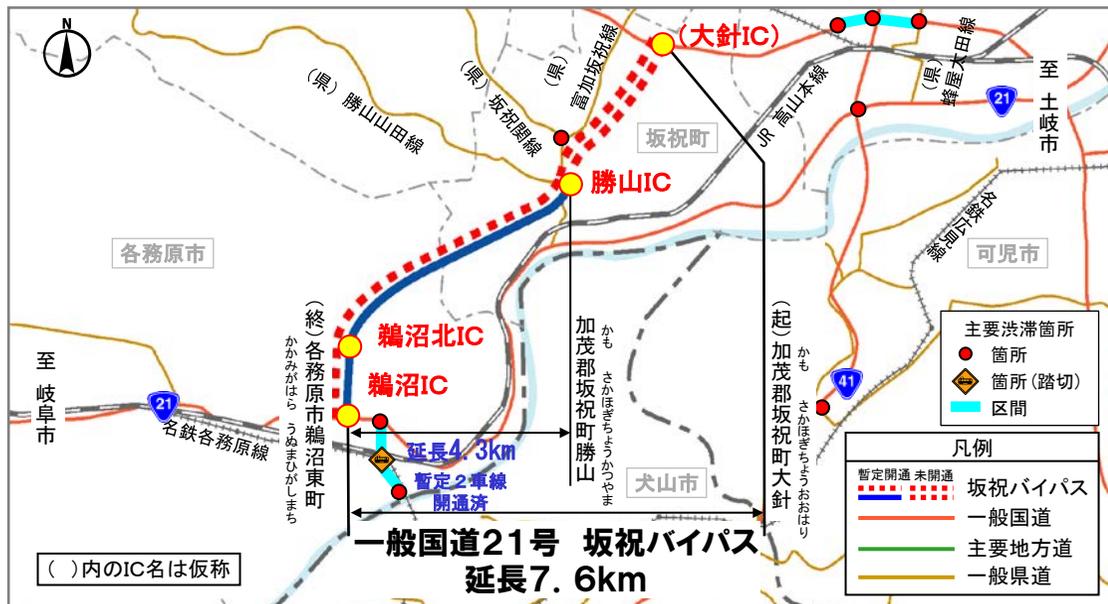


(H26. 6. 26)

1. 一般国道21号坂祝バイパスの事業概要

■平成21年度末迄に^{かも さかほぎちょうかつやま かかみがはら うぬまひがしまち}加茂郡坂祝町勝山～各務原市鵜沼東町(延長4.3km)が暫定2車線により開通しています。

事業名	一般国道41号 坂祝バイパス
道路規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線
都市計画決定	昭和61年度
事業化	平成2年度(勝山IC～鵜沼IC) 平成18年度(大針IC～勝山IC)
用地着手年度	平成6年度
工事着手年度	平成11年度
延長	7.6km (うち暫定2車線開通済み4.3km)
前回の再評価	平成24年度 (指摘事項なし：継続)
全体事業費	508億円
B/C	1.7(H24再評価時)



2. 評価の視点【事業の必要性等に関する視点】

①交通渋滞の緩和

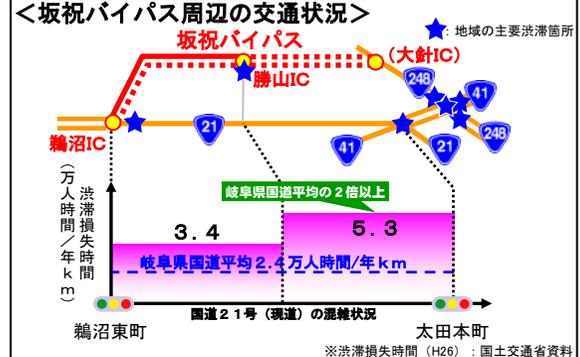
1) 事業を巡る社会情勢等の変化

●坂祝バイパスに並行する国道21号は、主要渋滞箇所が2箇所あり、渋滞損失時間が県平均の2倍以上の区間が存在。

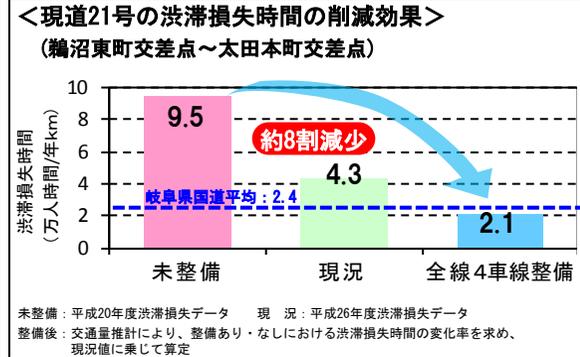
2) 事業の投資効果

○坂祝バイパスの整備により、並行する国道21号の渋滞損失時間が約8割減少する見込み。

1) 事業を巡る社会情勢等の変化



2) 事業の投資効果



②災害に強い道路機能の確保

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

●並行する国道21号は、木曾川氾濫時浸水想定区域内にあり、平成23年の台風15号では13時間の通行止を実施。

●更に、防災対策箇所が存在し、平成2年度以降、8件の落石・土砂崩れが発生。

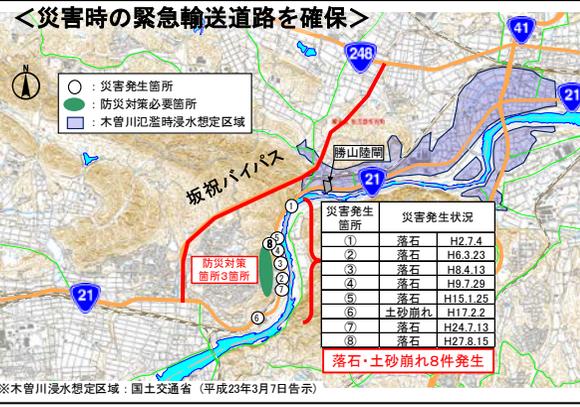
2) 事業の投資効果

○坂祝バイパスの整備により、災害時におけるリダンダンシーが確保され、救助活動等を支援。

1) 事業を巡る社会情勢等の変化



2) 事業の投資効果



③地域経済活性化の支援

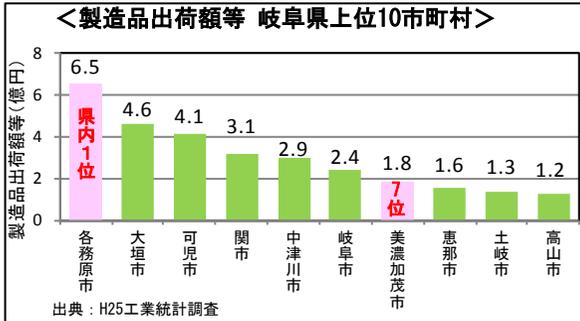
1) 事業を巡る社会情勢等の変化

●坂祝バイパスが結ぶ美濃加茂市と各務原市周辺は工業団地などが多数立地し、県内の製造品出荷額等の上位を占める工業地帯。

2) 事業の投資効果

○坂祝バイパスの整備により、物流交通の定時性向上や災害時の代替路確保等の効果が発現され、企業活動を支援。

1) 事業を巡る社会情勢等の変化



2) 事業の投資効果



2. 評価の視点【事業の必要性等に関する視点】

④ストック効果事例(公共交通機関へのアクセス向上)

- 坂祝バイパスの部分整備により、向陽台⇄新鵜沼駅の所要時間が短縮しました(未整備:約25分⇒部分整備:約15分)。
- 名古屋へ向かう鉄道利用者は、渋滞により新鵜沼駅へのアクセスが阻害され、美濃太田駅への迂回を余儀なくされていましたが、坂祝バイパスの部分整備により新鵜沼駅へのアクセスが向上し利用できるようになりました。

○鵜沼周辺の混雑状況



整備前の所要時間の算出方法：H17センサスの混雑時旅行速度より算出した所要時間で算出。
 但し、山崎町交差点の区間のみ最大渋滞長時(渋滞長調査H18.6.21)の通過時間で算出。
 現況の所要時間の算出方法：民間プローブデータ(H27.5月平日7時台平均速度)より算出。



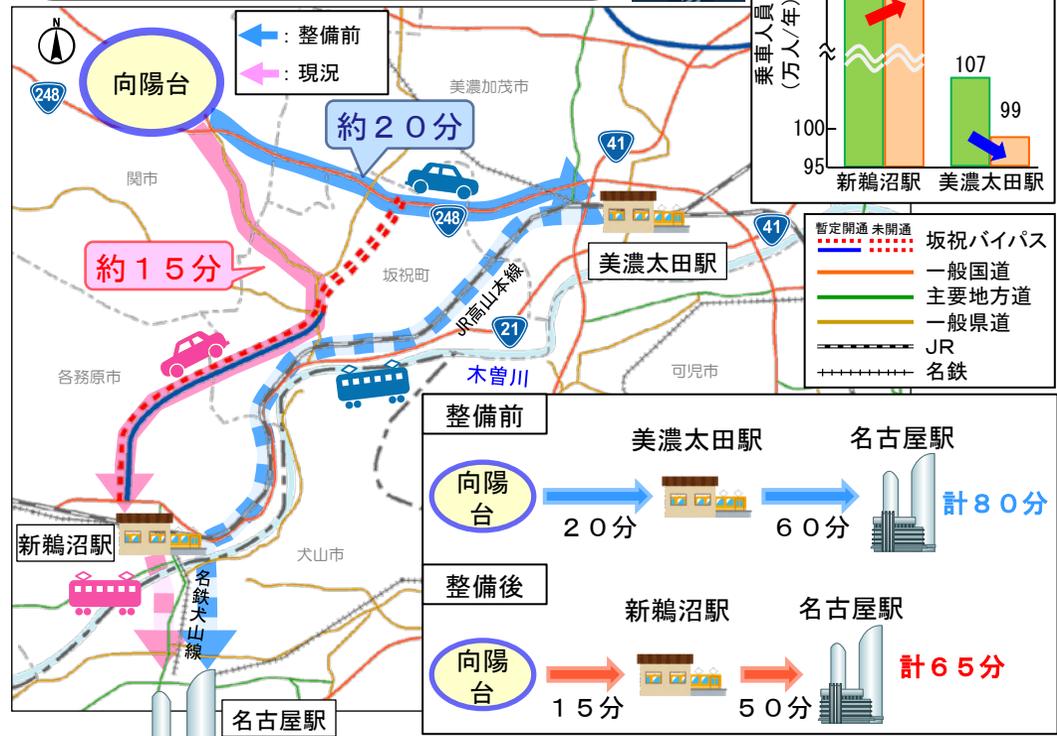
※H26.6.26交通量調査結果より



※H22.11.16渋滞長調査結果より

○名古屋へのアクセス向上

坂祝バイパス整備により国道21号の現道の交通量が減少し、市街地から鵜沼駅まで30分かかっていましたが、15分で到着できるようになりました。なにより、到着時間が読めるようになりました。
 名古屋へ出ていく際に、車を止めておく駅を美濃太田から新鵜沼駅に変更しました。



出典: 整備前: H17センサス混雑時旅行速度
 現況: 民間プローブデータ(H27.5月平日7時台平均速度)
 交通量調査結果 JR時刻表2015年6月号 岐阜県統計書

3. 事業の進捗及び今後の予定

1) 事業の進捗状況

- 事業進捗率は約67%、用地取得率は約100%に至っています。(平成26年度末)
(参考)前回評価時：事業進捗率は約55%、用地取得率は約96%(平成23年度末)

2) 事業の進捗の見込みの視点

- ^{かつやま}勝山IC～^{おおはり}大針IC間(延長3.3km)は、平成27年度に暫定2車線開通を予定しています。

4. 県・政令市への意見聴取結果

■岐阜県の意見

他事業も含めた県内全体の優先度を考慮して、計画的に事業を実施するようお願いします。
また、事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底した縮減をお願いします。

5. 対応方針(原案)

- 一般国道21号坂祝バイパスの事業を継続する。